

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
 実施機関名： 合同会社瓦林総合研究室

(A)バックオフィス	ベンダーマネジメント力の向上
システム導入	

コースのねらい	情報システム開発の発注者(ユーザー企業)として知っておくべき事項を理解し、システム開発会社(ベンダー)との良好な関係を築くためのベンダーマネジメント手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1 ■ ベンダーマネジメントの概要	(1)ITシステムの「2025年の崖」とは 経済産業省が発信している2025年の崖について解説を行い、レガシーシステムの残存がもたらす様々な弊害について理解いただき、ベンダーマネジメント力向上がシステムやベンダーの選定およびシステムのトータルコストを低減していくための対策の一つであることを解説する。 【演習】 自社の主なシステムと稼働年数を列挙いただき、現状を整理頂く。結果をグループ内で共有いただき、他社状況を理解する。 (2)ベンダーマネジメントとは ベンダーマネジメントについて概略を説明した上で、クラウドサービスをはじめとする様々なDXツールが提供されている昨今のベンダーマネジメントの内容がどのように変遷しているかについて解説を行う。 (3)VMOの編成 ベンダーマネジメントを的確に遂行するためにベンダーマネジメントの専任組織であるVMOの設置が重要であることを解説する。実際の企業では調達部門として設置されているケースやリソースの関係上専任部署の設置が難しい場合などもある現状について説明する。 リソースが限られた企業・組織ではVMOの編成が難しくその場合でも利用部門を巻き込んだ同機能の編成が効果的であることを解説する。 【演習】 自社のベンダーマネジメント体制について整理を行い、講義内容を踏まえて改善点がないか点検する。	6.0
	2 ■ ベンダーの選定	(1)ベンダーの選定・評価方法 経営力、人的資源の豊富さ、技術力、得意分野、モチベーション、責任感、営業の対応力、プロジェクトマネージャの能力など、ベンダーを評価するにあたって必要な項目について説明し、評価方法を解説する。また、過去に取引のあったベンダーについて日ごろからベンダー評価をリスト化(データベース化)することが効果的であることを説明する。 【演習】 現在取引のあるベンダーについて評価項目ごとの評価を行い、自社独自の視点で評価項目の追加がないか点検いただく。追加した評価ポイントについてグループで共有する。 (2)システム開発プロジェクトの成功例、失敗例の紹介 システム開発プロジェクトの成功例と失敗事例を紹介し、それらの原因がシステム開発のどの段階で発生していたのか解説を行い、まとめとして成功するためのポイントを説明する。 【演習】 自社の過去事例での成功例と失敗例およびそれらの要因を列挙いただき、グループ内で可能な範囲で共有する。	
	3 ■ VMOが担う役割	(1)契約管理 請負契約と準委任契約の違いとどのような委託内容に向いているかを解説し、適切な契約がひいてはシステムのトータル費用(TCO)に影響することを解説する。また、ソフトウェアライセンス契約形態の種類と特徴について解説を行い、コストへの影響と対策について解説する。 (2)リスク管理 ベンダー選定・開発・運用それぞれの場面で具体的にどのようなリスクがあるか事例をも交えて解説する。加えてベンダー評価項目には反映されない契約リスク、知的財産、秘密保持などの面でのリスクおよび対策についてベンダー・製品の選定までの段階、契約段階、システム開発の各フェーズ段階の各段階に分けて解説を行う。 (3)モチベーション管理手法 ベンダーのモチベーションもQCDIに影響を及ぼすことを解説し、モチベーションを維持するための日ごろからのベンダーとの付き合い方について対営業担当、プロジェクトマネージャ、技術者などの担当別で解説を行う。 (4)パフォーマンス管理手法 成果物の品質、納期遵守などの評価項目とKPIIに基づくパフォーマンス評価管理・記録を日ごろより行い、ベンダー評価のデータベースへの反映・更新を行うことが継続したベンダーマネジメントに不可欠であることを解説する。 (5)QCDを改善するための検討 ベンダー評価やパフォーマンス評価などQCDの観点から評価を行い、次の発注時の選定時に活用する際の手法について解説する。 【演習】 『2. (1)ベンダーの選定・評価方法』の演習結果を踏まえ、リスクを抽出し、対策を考える。	

カリキュラム作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 限られた人的リソースでベンダーマネジメントを効果的に行うためのエッセンスを各項目で解説し、習得します。 社内SE歴30年の経験に基づき、教科書には載らないノウハウを訓練の随所にちりばめた内容にしています。 演習の時間をできるだけ確保し、他社状況や他社の中堅担当者の視点を得られるようにしています。
---------------	--

講師から一言 (リーフレット掲載用 50~70字程度)	ベンダーを適切に活用できる企業は業務効率も成果も大きく伸ばせます。明日から実践できる“選び方・付き合い方”の要点を、わかりやすくお伝えします。
-----------------------------	---